

第 16 回定例委員会会議録

教 育 長) 開会宣言

教 育 長) 会議成立の宣言

教 育 長) 会議録署名委員の指名（越野委員）

教 育 長) ここでお諮りいたします。

報告第 18 号ですが、市議会提出議案のため、非公開で行いたいと思いますが、御異議はございませんか。

〈異議なしの声〉

御異議なしと認め、そのように決定いたします。

教 育 長) ただいまから非公開で審議いたします。

〈非公開会議〉

教 育 長) それでは、審議に入ります。

日程第 1、報告第 18 号「平成 30 年度教育委員会関係補正予算について」を議題とします。提案説明を求めます。

管 理 課 長) 〈議案資料に基づき概略説明〉

管 理 部 主 幹) 〈議案資料に基づき概略説明〉

教 育 長) 説明が終わりました。質疑はございませんか。

今回、国の採択を受けなかったものもありますが、予定していた工事はいずれにしろすべて実施するということですね。

管 理 部 主 幹) はい。

教 育 長) 中学校費の学校施設環境改善交付金については、今年度、当初予算として計上していたけれども、国の交付決定の時期の関係上、昨年度の 3 月議会において補正対応したことにより、結果として重複して予算計上していることになったため、今回

減額補正するということですね。

管理部主幹) はい、そのとおりです。

教育長) 今回の減額補正により、山手中学校に係る予算はどのくらい減りますか。

管理部長) 十数億円かけて行う工事自体は平成30年度に実施することとしておりましたが、平成29年度に国が経済対策の一環で建て替え工事に係る補助金を増額補正したことで、当該補助金の交付を受けるために、この工事も29年度からの繰越事業として行うこととし、昨年3月末に補正いたしました。

この補正により措置した13億円分が、平成30年度当初予算にも計上しており、重複して予算措置した形になっておりますので、この3月補正で重複分を減額するということです。

教育長) わかりました。国からは相当額の補助が入ったのですか。

管理部長) 金額としては大きい額ではありません。

国が補正予算を組んで枠を拡げたことにより、再度補助金申請するよう通知がありまして、それを受けて申請したところ交付決定されましたので、本市も補正を行ったということですね。

教育長) わかりました。

いずれにしても本市としては国県補助を受けられる可能性があるのであれば僅少であっても申請を行うことは、市民にとっても有益であり、否定されるものではないと思います。

管理部長) 交付決定された補助金の額はいくらでしたか。

管理部主幹) 約1億4,000万円です。これについては、まだ実績報告が終わっていませんので、先程申し上げた額は交付決定通

知で示されている額です。今後、実績報告を行いますので、恐らく4月あたりに国から交付されることになろうかと思えます。平成29年度に補正を行い、今回減額補正したことにより、平成30年度の予算額としては、約14億5,000万円の減額となります。

教 育 長) 平成30年度では減額しても結論としては同じということですね。

管 理 部 主 幹) はい、同じです。

教 育 長) しかしながら、今回のように補助申請をしなければ、この補助を受けることはできていないということですね。

管 理 部 長) はい、そのとおりです。

教 育 長) 大学等入学支援基金事業ですが、今年度の申請状況を教えてください。

管 理 課 長) これから、本格的な受験シーズンに入りますので、申し込まれる方も増えてくるかとは思いますが、申請者数は昨年度と同じ時期に比べて減少しております。昨年度は当初40件ほどの給付を見込んでおりましたが、実際には、対象要件に該当すると思われる方が例年より多いことがわかりましたので昨年3月に補正いたしました。今年度については、昨年度より少ないと見込んでおります。

教 育 長) ということは、当初予算の額で問題ないということですね。

管 理 課 長) はい、今年度は給付上限額20万円を60件給付できるよう予算措置しておりますし、対象者が多かった昨年実績で42件でしたので、現計予算で足りると考えております。

教 育 長) 他に質疑はございませんか。

無いようですので、これをもって質疑を打ち切ります。

これより採決いたします。本案は、原案どおり承認することに御異議ございませんか。

〈異議なしの声〉

御異議なしと認めます。よって本案は承認されました。

〈報告第18号採決。結果、承認（出席委員全員賛成）〉

教 育 長) 非公開での審議は終了いたしましたので、これより公開いたします。

〈非公開審議 終了〉

教 育 長) 閉会宣言